

意見等募集の結果について

案 件	茨木市文化振興ビジョン（第2期）（案）について
結果の公表場所	ホームページ、文化振興課窓口（市役所南館8階）、 生涯学習センター きらめき窓口 情報ルーム（市役所南館1階）
意見募集期間	令和6年1月10日から1月30日まで
意見提出件数	4 人 50 件 (うち賛否のみ 0件、対象外 0件)
意見募集時 公表資料	茨木市文化振興ビジョン（第2期）（案）
結果公表日	令和6年3月21日
担当課	市民文化部 文化振興課 政策係・振興係 電 話：072-620-1810 F A X：072-622-7202 Eメール： bunkaseisaku@city.ibaraki.lg.jp

「茨木市文化振興ビジョン(第2期)(案)」について提出された意見等及び市の考え方

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
1	—	全般	立命館大学大阪いばらきキャンパス、追手門学院大学総持寺キャンパスのそれぞれにおける新施設開設に伴い、行政との連携を強化されたい。	関係課と情報共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。
2	—	全般	福祉文化会館閉館に伴い、跡地の有効利活用について、特段の取り組みを推進されたい。	関係課と情報共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。
3	—	全般	キリシタン遺物史料館に関して、ダムパークいばきた開業により、観光スポットに位置づけ、北部地域開発の一端として連携を強化されたい。	関係課と情報共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。
4	—	全般	1 分かりやすい「概要版」を作成、公共施設に配布されたい。 2 写真を用い、読みやすいレイアウトを工夫されたい。	1 関係施設への配架を検討しております。 2 改定事務において参考にさせていただきます。
5	—	表紙(タイトル)	「文化振興ビジョン」から「文化芸術振興ビジョン」への改訂を希望する。 また、全体を通じ「文化」と「文化芸術」の使い分けについて整理が必要ではないか。	委員会での同種の議論についてご審議いただいた内容を踏まえ、現行のタイトルを継続します。
6	1	1. 策定の趣旨 [2]文化芸術に対する市の考え方	文化芸術の本質的価値と社会的価値について混在しているため、「構成員」「誇り」「発展」の使い方に違和感を覚える。 文化芸術の本質的価値(人格の自由な発展等)を明示したうえで、社会的価値を記載する等の整理を行い、市の姿勢(文化芸術に対する考え方)を明確にしていきたい。	文章全体の構成を文化芸術の本質的価値と社会的価値の考え方に基づき整理し、併せて「構成員」と「発展」について、表現を修正します。
7	3	文化振興ビジョンの対象	伝統芸能に「組踊」が漏れている。	組踊について記載し、併せて海外の伝統的芸能についても追記しました。
8	4	理念1 共創による文化の新たな価値の創造・発信	3行目「おこなう」となっているが「行う」に修正したほうが良い。	文言を修正します。
9	4	理念1 共創による文化の新たな価値の創造・発信	説明文2行目、「様々な分野や場所で活動を行なう人と人が文化を通じて～」における「文化」を「文化芸術」としてはどうか。 説明文6行目、文章ならびに表中に「だれでも自らの可能性や創造性を試し成長することができるまち」とあるが、「成長」を公的文章で市民個人に求めることに違和感を覚える。 理念1前段では「だれでも自らの可能性や創造性をためすことができるまち」とし、後段において、共創による新たな価値を示せばよいと考える。 ※「成長」という単語が「人格の自由な発展」を意味しているのであれば、一定の理解をするものであるが、注釈を加えるべきと考える。	本文の趣旨に沿うよう「文化芸術」にあらためます。 理念1のめざす姿の趣旨に沿うよう「成長することができる」の文言を「ありたい自分になれる」に修正します。
10	4	理念2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり	5行目「はじめとした市内の文化施設を中心として、まちの様々な「場」で自然に文化芸術と出会うような、文化のまち」は「だれもが日々の暮らしの中で文化芸術と出会うまち」へ修正したほうが良い。	理念2の説明文の結論とフロー図の結論(めざす姿)が一致するよう文言を修正します。また、同頁の理念1、次頁の理念3も説明文とフロー図の構成が一致していないため修正します。
11	4	理念2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり	説明文1行目、「性別、年齢、障害の有無や国籍等にかかわらず、【自主性】を尊重しながら、文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくりを積極的に進めていきます。」の文言について、【自主性】とは、ある程度決められていることを自ら率先して行う態度や性質のことを一般的に指すのではないかと思います。しかし、ここで対象とされている方の中には「自ら率先して」という部分が苦手な方もおられると感じました。「多様性を尊重する」などの表現にしてはどうか。	理念2については多様な主体に対するアクセシビリティの確保を目指していることから、「多様性の尊重」に修正します。 一方で、「自主性の尊重」は文化芸術活動においては十分に尊重されなければならないため、理念1の説明文とP6取組の方向性①の文中に追記します。
12	5	理念3 これまでの文化の継承、これからの文化の展開	継承ならびに次代の文化芸術活動に加え、「文化的コモンズの形成」を追加してはどうか。 また、「次代の茨木市の文化芸術活動につながっていく」や「自由で広がりのある茨木市独自の文化が息づくまち」とあるが、市内一部地域で今もある伝承等があることや、国際的に活躍する次世代が現れることも希望することから「茨木市」という行政区をあえて記載する必要を感じないものである。	「文化的コモンズの形成」については体制的に取り組むという位置づけから、4. 推進体制に明記しています。 本市市民の主体的な文化芸術活動や地域独自の文化芸術活動の継承を尊重することから、そのままの記載とします。 次代の茨木市の文化につなげるという趣旨となるよう、表現を「文化芸術活動」から「文化芸術」に修正します。

「茨木市文化振興ビジョン(第2期)(案)」について提出された意見等及び市の考え方

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
13	5	2. 文化振興ビジョンが目指すまち	「未来につながる『文化のまち』いばらき」に賛同するものであるが、表中の白抜き文字「社会状況が絶えず変化する中でも、市民の心豊かな生活を実現」とあるが、経済活動や衣食住などの習慣、手段など、日々の営みの具体的な側面のことを指す「生活」より生き方等の広い意味をもつ「暮らし」としてはどうか。	ご指摘のとおり、「生活」をより広い意味をもつ「暮らし」に修正します。
14	6	理念1 取組の方向性①	「地域における文化芸術を通じた活動への支援」は「地域における文化芸術活動への支援」に修正したほうがよい。 「文化芸術事業実施に対する補助金の交付や、助言やサポートにより主体的な文化芸術活動を支援します。」は、「文化芸術事業に対する補助金の交付や、助言により主体的な文化芸術活動を支援します。」に修正したほうがよい。	表現を修正します。
15	7	理念1 取組の方向性②	・7行目、「目指します。」へ修正したほうがよい。 ・取組名「事業者の文化芸術活動への参加促進」は、他分野・他主体との連携ではないか。取組③に移したほうがよいと考える。	・7行目の誤字を修正します。 ・取組名「事業者の文化芸術活動への参加促進」はP.8【取組の方向性③】連携による新たな価値の創造・発信に項目を移します。
16	7	理念1 取組の方向性②	取組名として、姉妹都市等との文化的交流が記されているが、文頭に「国内外を問わず」を追記し、国際的で視野でいることを明示してはどうか。	表現を修正します。
17	8	理念1 取組の方向性③	1行目を「多様な主体と連携することで、」に、 6行目、「文化芸術によるつながりを～」に、 13行目、「社会問題の緩和や解決に向けてアプローチすることを目指します。」に修正したほうがよい。 取組1つ目の取組内容中を「広範な分野の人や団体との連携を強化し、社会課題へのアプローチも行います。」に修正したほうがよい。 取組2つ目は、理念2の取組②へ移したほうがいいのではないかと。※社会課題＝社会包摂なのか？ 取組3つ目、「今まで届かなかった～、強化します。」に修正し、理念2の取組②へ移したほうがいいのではないかと。	1行目から13行目までは、ご指摘を踏まえ、より読みやすい表現となるよう文言を整理しました。 取組1つ目の取組内容中については、文言を整理し、「社会課題へのアプローチ」を追記し、取組2つ目「文化芸術を通じた社会課題へのアプローチ」と取組3つ目「取組の周知に関する情報発信の強化」の取組については、P.10 理念2【取組の方向性②】気軽に文化芸術活動に参加できる機会・きっかけづくりのページへ移します。
18	9	理念2 取組の方向性①	・5行目、「高齢者、障害者、子ども等、情報の取得がしにくい又は配慮の必要な人にも情報が届くよう」に修正したほうがよい。 ・取組1つ目の取組内容中、「様々な分野の人や組織との連携により、」を削除したほうがよい。 ・取組2つ目の取組内容中、「展示会など」を削除したほうがよい。 ※展示のみ例示するのは不自然	5行目の内容における、情報を届ける対象については1行目の中に含まれております。 取組内容中の表現を修正します。
19	9	理念2 取組の方向性①	「誰もが」の中に含まれている「要配慮者(障がい者やひきこもり状況にある者、高齢者等)」が安心して文化芸術とつながる環境づくりの取組内容についても、もう少し具体的に記載してはどうか。例えば、公立施設である障害福祉センターハートフルとの連携やこれまでに開催しているハンディキャップがある方向け講座の継続など。	ご指摘のとおり、今後はより広い分野の各団体、施設と連携を図っていく必要があると認識しております。その上で、要配慮者を含む様々な対象の方も視野に入れた取り組みを行っていくことが必要であると考え、俯瞰的な表現をしております。
20	10	理念2 取組の方向性②	・2段落目、「高齢者、障害者、子ども等、情報の取得がしにくい又は配慮の必要な人にも情報が届くよう、」及び「わかりやすい表現の情報発信に努めるとともに、」を削除したほうがよい。 ・取組1つ目と2つ目を統合し、取組名を「文化芸術活動にふれる機会の充実」、取組内容を「～参加機会に恵まれなかった人が、日常の暮らしの中でも自然と文化芸術にふれる機会や場所の充実を図ります。」に修正したほうがよい。	・ご指摘の箇所については、本来取組の方向性①で記述すべき内容であったことから、ご指摘の部分を削除した上で、取組の方向性①へ移します。 ・取組1つ目と2つ目については、それぞれの取組の方向性を鑑み、ご意見のとおり修正します。

「茨木市文化振興ビジョン(第2期)(案)」について提出された意見等及び市の考え方

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
21	11	理念2 取組の方向性③	・6行目、「アーティスト」を「芸術家」に修正したほうがよい。 ・取組2つ目、取組名を「芸術家の表現の鑑賞機会の充実」に修正したほうがよい。	・6行目は、取組名と取組内容の記載が一致するよう修正対応します。 ・取組2つ目の取組名はご指摘とおり修正します。
22	12	理念2 取組の方向性④	・11行目を「利活用」に変更したほうがよい。 ・取組1つ目、取組名「利活用」、取組内容「文化施設の効果的な利活用」に変更したほうがよい。 ※利用にとどまらず、おにクルや他施設の有効的な活用を進めるべき	取組内容の趣旨を踏まえ、文化施設については、市民の皆さまの様々な利用形態が想定されることから「利用」、その他公共空間については利用にとどまらず活用の推進を想定することから「利活用」と、文言を用いる形で整理します。
23	15	理念3 取組の方向性①	・「ワークショップ」を削除したほうがよい。※WSも事業のうちである。 ・3段落目、「学校教育においても、」に修正したほうがよい。	表現を修正します。
24	15	理念3 取組の方向性①	学校教育との連携が記載されているが、幼稚園、こども園、保育所等を含める意味から「学校園」としてを対象としてはどうか。	「学校」を「学校等」に修正します。 その他の同種の表現となっている箇所についても、併せて表現を修正します。
25	16	理念3 取組の方向性②	・取組1つ目、取組名「若手芸術家の発表機会の充実」を「若手芸術家の発表の機会の創出」に、 ・取組2つ目、取組名の「アーティスト」を「芸術家」に、取組内容を「多様な芸術家が集まる仕組みづくりを推進します。」に修正したほうがよい。	・取組の1つ目は表現を修正します。 ・取組の2つ目については、より広い分野を対象としていることが伝わるよう、アーティストと記述しております。
26	16	理念3 取組の方向性②	①発表の機会の充実にとどまらず、美術、音楽、パフォーマンスアーツに関わらず、クリエイション支援についても記載した方がよいのではないか。 ②アートマネジメント人材(プロフェッショナルアーツ人材)の育成について記述、取組がないが、取り組む必要があるのではないか。	①取組名を取組内容に合わせ、文言を修正します。 ②説明文において、「専門人材の育成」に関する内容を追記し、文言を修正します。
27	17	理念3 取組の方向性③	取組2つ目、取組名を「本市ゆかりの著名人の積極的な情報発信」に、取組内容の「アーティスト」を「芸術家」に修正したほうがよい。	表現を修正します。
28	18	4. ビジョンの推進に向けた体制	[2] 市内連携 「連携事業」を「事業連携」に修正、 [3] 多様な資金調達「ふるさと納税」の前にスペースを挿入したほうがよい。	表現を修正します。
29	18	4. ビジョンの推進に向けた体制	冒頭の文章において、市民、文化振興財団、おにクル指定管理者等と市の関係について、「対等に」の追記をしてはどうか。	それぞれの主体の役割が損なわれないよう、「相互補完的に」という表現を本文中に追記します。
30	21	4. ビジョンの推進に向けた体制 推進体制の主体と役割・動き	・教育機関の役割について、「保育所等の教育機関」を「学校等の教育機関」に修正したほうがよい ・財団の役割について、「市民の活動に関する相談などの支援やマッチング等」に修正したほうがよい。	・「学校等の教育機関」に修正します。 ・P.24 アーツカウンシルに求められる機能にあわせて、表現を修正します。
31	21	4. ビジョンの推進に向けた体制	・市に国、府の施策や補助金の調査、文化的生存権、文化振興財団(アーツカウンシル)に、民間助成金等の獲得、文化芸術施策の調査・研究及び専門的アドボカシー機能を明記してはどうか。 ・あわせて、市及び文化振興財団の役割・動きに「継続的に(な)」の一言の追記を希望する。	・国、府の施策や補助金の調査はP.18[3]多様な資金調達において記述しております。また民間助成金の獲得については、同じ項目に追記します。文化的生存権については様々な学術的議論もあり本ビジョンへの具体的記述は困難と考えておりますが、P.1[2]において文化芸術に対する市の考え方を記述しております。アーツカウンシル機能の個々の具体的な機能の記載については、ここでは「等」に含んでおります。具体的な機能については今後ビジョンを推進する中での検討課題と考えています。 ・p.21 役割・動きに「継続的に」を追記します。